



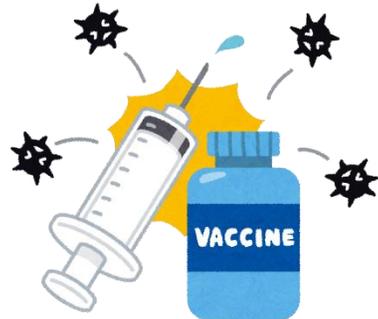
ワクチン4回目接種

「昨年の本紙8月号ではコロナの終息を願って、「そうだ旅に出よう」という内容の紙面を提供させて頂きました。終息は未だ見えませんが、高年齢者には4回目のワクチン接種が求められています。既に接種済みの方もいらつしやると思いがすが、この4回目接種について少し詳しく取り上げてみます。」

ブースター接種

ブースター接種とは「ワクチンの効果を高め、持続させるための追加接種」のことをさしています。ブースターとは、「増幅器」のことで、ブースター接種は「本来ある免疫機能をさらに向上させる」といった意味合いがあります。

本来、新型コロナウイルスワクチンはファイザー社製・モデルナ社製ともに「2回接種」が基本だったので、「3回接種」以降のことを指します。ブレイクスルー感染を防ぎ、感染したとしても重症化を予防する目的で、ブースター接種が行われています。



厚生労働省からのお願い

【ワクチン4回目接種対象の方へ】

社会経済活動と感染拡大防止の両立を維持するためには、世代ごとにメリハリの利いた感染対策をさらに徹底していくことが必要です。特に、重症化リスクのある高齢者を守ることに重要です。鍵となるワクチン接種は、現在、4回目の接種が着々と進んでいます。ワクチン接種は、皆さん自身を守るだけでなく、大切な方を守ることもつながります。4回目接種の対象の方におかれましては、ご理解とご協力をお願いいたします。

【ワクチン接種が受けられる時期】

令和4年5月25日〜令和4年9月30日までの予定です。

【4回目ワクチン接種の対象者】

新型コロナウイルスワクチン4回目接種の対象者は、3回目接種又はそれに相当する接種から5か月以上が経過した下記の方です。

- ① 60歳以上の方。
- ② 18歳以上60歳未満で、基礎疾患を有する方や重症化リスクが高いと医師が認める方、医療従事者等及び高齢者施設等の従事者。

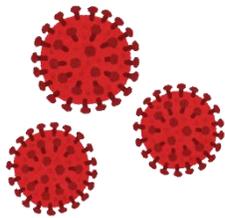
なぜ60歳以上が接種対象なのか

厚生労働省はこれまで、2回目接種までは5歳以上全員、3回目接種は12歳以上全員を接種対象としてきました。

3回目接種による重症化予防効果がオミクロン株に対してもある程度持続していることや、4回目接種による感染者数の抑制については、一定程度の効果は見込めるもの、不明な点が多いことなどから、重症化リスクの高い高齢層の人だけを接種対象とすることにしました。単純比較は難しいのですが、60歳未満と60歳以上の重症化率を比較すると約10倍となっています。4回目接種はブースター接種であり、免疫効果の減衰を補い維持することにより、重症化リスクを下げることに目的となっています。

オミクロン株対応ワクチンとの関係

現在、感染ウイルスの主流はデルタ株からオミクロン株に置き変わっています。政府は10月中旬以降にオミクロン株に対応したワクチン接種を開始する方針を打ち出しました。



現在の感染状況を踏まえると、まだワクチン接種を行っていない人はオミクロン株対応のワクチン待つことなく、従来のワクチン接種を検討してもらいたいと、自治体への協力連携を呼び掛けています。しかしながら、8月20日現在、ブースター接種からオミクロン株対応ワクチンの接種間隔は5か月前後と想定されているようですが、まだ明示されていない状況です。現行のワクチンでもオミ

クロン株に対して感染・重症化リスクを下げる効果がありますので、秋以降の接種に備えて3回目、4回目の接種を急いだほうが良いという意見もあります。

余談として

米国の研究者の発表によると、3回目接種後に感染した場合、4回目接種より大きな免疫力が得られるとの研究発表があります。これに対して接種推進派の研究者は重症化リスクを下げる為には接種を行うべきだと述べています。また、顕著な効果が期待出来ない、あるいは不明だということであれば、富裕国ばかりがワクチンを消費するのはなく、貧困国にワクチンを提供し世界規模での免疫を考えなければならないという意見もあります。



入院給付金（生命保険）

入院給付金は通常、病院に入院しないと保険会社に請求できませんが、新型コロナウイルスに感染した場合、病院への入院以外にホテル療養や自宅療養を指示され、それに従った場合にも入院給付金の支払い対象になることが多いようです。保険の内容によって取り扱いが異なるため、加入されている保険会社に確認されたいかがでしょうか。但し、濃厚接触者の自宅待機は支払い対象にはなりません。

9月の予定

先月取り上げましたマイナポイントですが、ポイント受け取りのために必要となるマイナンバーカードの取得申請は令和4年9月末までとなっています。まだの方はお早めに申請しましょう。

7月に凶弾に倒れた安倍晋三元首相の国葬が9月27日に日本武道館で行われる予定です。同じ山口県出身の伊藤博文元首相も凶弾に倒れ国葬が執り行われました。両者の享年がほぼ同じなのも不思議を感じます。

